

ただ今、提出されました議員提案第 号「一部外国人による犯罪の取り締まり強化を求める意見書」について、私は、自民党川口市議会議員団を代表して、賛成の立場から討論を行います。

皆様ご存知の通り、川口市はいまや全国で最も、「在留外国人」が多い都市の一つです。出入国在留管理庁が出している「在留外国人統計」によると、令和4年6月の川口市の「在留外国人」は39,028人で、政令指定都市を除く市町村では国内最多であります。

また、川口市が発表している月々の人口統計を見ても、今日1日時点では40,696人となっており、川口市の人口における「在留外国人」の割合は、平成23年11月1日時点では3.7%でしたが、徐々に増え続け、今日1日時点では6.7%となっています。

なお、こちらの数字は、中長期在留者および特別永住者である「在留外国人」のみとなっており、川口市には、正確な数が把握できない「来日外国人」も相当数いると言われております。

ここで、もう1つの統計をご紹介します。警察庁が出している「犯罪統計」の中に、「来日外国人による刑法犯・特別法犯 検挙件数・検挙人員 対前年比較」という資料があります。こちらの資料を見ますと、来日外国人の埼玉県内における令和3年の刑法犯・検挙人数は457人、令和4年の刑法犯・検挙人数は426人とのこと。川口市内における外国人の検挙数が令和3年は156人、令和4年は136人とのことですので、単純計算すると、埼玉県内での来日外国人・検挙数のおおよそ3分の1が、川口市ということになります。この数字を見ても、川口市内における外国人犯罪の多さを感じざるを得ません。

さらに、総務省統計局が刊行した「統計でみる都道府県のすがた2023」では、人口1,000人あたりの警察官数が、お隣の東京都では3.17人と全国1位であるのに対し、埼玉県は1.59人と全国最下位で、東京都の約2分の1であります。同じ資料内で、刑法犯認知件数が全国3位、窃盗犯認知件数も全国3位であるのに対し、認知件数1件あたりの刑法犯検挙率は39.9%と全国43位、窃盗犯検挙率は34.6%とこちらも全国43位と示されており、他都道府県と比べても埼玉県内における警察官数に圧倒的不足を感じざるを得ません。

一部外国人による犯罪は、善良に暮らす他の外国人のイメージも毀損しますし、川口市のイメージも毀損しています。川口市内においては、一部外国人と思われる方が改造車で暴走やあおり運転を行う、資材置場周辺では、通学中の児童生徒のそばを過積載と見まがうほど荷物いっぱい積んだ大型トラックがスピードを落とさずに走る等、命の危険を感じるといった声が複数寄せられております。また、メディアやSNS等でも問題視する画像や動画が上がっております。2021年には、トルコ国籍の少年が無免許運転のトラックで男性をはねて死亡させ、現場から国外逃亡を計ろうとして、出国手続きをしようとしたところ逮捕された事件もありました。家族の安全を考え、川口市を離れた方もいます。

地域住民の恐怖が、限界に達しております。

繰り返しますが、一部外国人による犯罪は、善良に暮らす多くの外国人も大変迷惑しております。祖国を離れ、この川口市で私達とともに暮らす善良な多くの外国人、そして毎日健全に働き、納税し、法令順守のもと、大好きな川口市で静かに暮らしたいと願う市民は、この現状に言い知れない絶望を感じ、悲嘆に明け暮れているのです。

我々自民党川口市議会議員団は、生活の安寧を脅かされている多くの善良な日本人および外国人の声を代弁し、この意見書を提案しております。議員の皆様におかれましては、どうか、現場からの声をしっかりと聞き、重く受け止め、一日も早い市民の安全・安心な生活の実現にご協力をいただきたいと、切に訴えます。

国および県におかれましても、現場からの声をお聞き届けいただき、本市における警察官の人員増強、取り締まり強化をしていただきたいことを改めて強く申し上げ、今回の「一部外国人による犯罪の取り締まり強化を求める意見書」について、賛成いたします。

何卒、よろしくお願い申し上げます。